

2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 マルサンアイ株式会社 上場取引所 名
 コード番号 2551 URL https://www.marusanai.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)渡辺邦康
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営企画部長(兼)管理担当 (氏名)堺 信好 (TEL) (0564)-27-3700
 定時株主総会開催予定日 2020年12月11日 配当支払開始予定日 2020年12月14日
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月11日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の連結業績 (2019年9月21日～2020年9月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	29,466	7.6	914	135.3	920	137.7	715	△19.5
2019年9月期	27,373	3.9	388	2.5	387	△6.5	889	△22.4
(注) 包括利益	2020年9月期 677百万円 (△17.0%)		2019年9月期 816百万円 (△32.6%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	313.81	—	11.5	3.7	3.1
2019年9月期	389.68	—	15.9	1.6	1.4

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 1百万円 2019年9月期 1百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	25,855	6,496	25.0	2,837.72
2019年9月期	24,052	5,956	24.7	2,600.54

(参考) 自己資本 2020年9月期 6,474百万円 2019年9月期 5,933百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	2,078	△1,655	△356	2,884
2019年9月期	1,860	△1,586	△358	2,821

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00	136	15.4	2.4
2020年9月期	—	0.00	—	70.00	70.00	159	22.3	2.6
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00		19.3	

(注) 1. 2020年9月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 10円00銭(70周年記念配当)
 2. 2020年9月期期末配当金につきましては、本日(2020年10月30日)公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご確認ください。

3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年9月21日～2021年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,771	2.1	267	△43.8	245	△49.3	111	△67.0	48.48
通期	30,003	1.8	649	△29.0	609	△33.8	356	△50.3	155.07

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期	2,296,176株	2019年9月期	2,296,176株
② 期末自己株式数	2020年9月期	14,688株	2019年9月期	14,668株
③ 期中平均株式数	2020年9月期	2,281,496株	2019年9月期	2,281,508株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(表示方法の変更)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	20
4. その他	21
役員の異動	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税増税後の家計支出が減少し景況感も悪化した中で、新型コロナウイルス感染症の全世界への拡大により、大変厳しい状況で推移しました。

みそ業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「巣ごもり消費」により、みその国内の家庭内消費量は一時的に増加したものの、コロナ禍の影響により輸出量が減少したため、全体的には需要減退となっております。

豆乳業界におきましても、同様の傾向が見られましたが、基本的には健康志向の高まりを背景に市場が拡大しており、豆乳生産量は2019年に過去最高を記録し、2020年も順調に推移しております。

このような環境の中で、当社グループは「健康で明るい生活へのお手伝い」を企業理念に定め、安全で安心できる製品の供給に努めるとともに、原価高騰への対策としてコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、豆乳及び飲料が好調に推移したため294億66百万円（前期比7.6%増）、営業利益は、売上高の増加及びコスト削減に努めたことにより9億14百万円（前期比135.3%増）、経常利益は、営業利益の増加により9億20百万円（前期比137.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、2019年12月18日に公表した「純正こうじみそ750g」自主回収に伴う製品自主回収関連費用を計上したこと、また前連結会計年度は、当連結会計年度を上回る補助金収入を計上しており、前連結会計年度に比べ1億73百万円減少し7億15百万円（前期比19.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① みそ事業

生みそ及び調理みその売上が減少したため、売上高は、47億55百万円（前期比4.1%減）となりました。

a. 生みそ

「純正こうじみそ750g」の自主回収、また前期はメディアの影響により赤だしみその出荷が突出しましたが、その反動もあり、売上高は、37億16百万円（前期比5.4%減）となりました。

b. 調理みそ

主力製品である「酢みそ」等の売上が減少したため、売上高は、3億56百万円（前期比4.2%減）となりました。

c. 即席みそ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主に備蓄傾向及び内食化が進んだため、売上高は、4億70百万円（前期比8.0%増）となりました。

d. 液状みそ

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、主に販売促進の機会が減少したため、売上高は、2億12百万円（前期比5.2%減）となりました。

② 豆乳飲料事業

豆乳及び飲料が好調に推移したため、売上高は、224億77百万円（前期比10.9%増）となりました。

a. 豆乳

全体的に順調でしたが、特に1000mlタイプの無調整豆乳が好調に推移し、売上高は、199億80百万円（前期比10.8%増）となりました。

b. 飲料

第3のミルクが好調に推移したため、売上高は、24億97百万円（前期比12.1%増）となりました。

③ その他食品事業

「豆乳で作られたヨーグルト」がメディアで取り上げられたこともあり、「豆乳グルト」が好調に推移したため、売上高は、22億13百万円（前期比3.8%増）となりました。

④ 技術指導料その他

技術指導料として、売上高18百万円（前期比1.2%増）を計上いたしました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

a. 資産

流動資産は、113億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億28百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の増加6億64百万円等によるものであります。

固定資産は、145億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億73百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、有形固定資産の増加8億54百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、258億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億2百万円増加いたしました。

b. 負債

流動負債は、115億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億65百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、流動負債その他に含まれる設備支払手形の増加7億27百万円等に対し、短期借入金の減少8億10百万円等があったためであります。

固定負債は、78億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億28百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加12億96百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、193億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億62百万円増加いたしました。

c. 純資産

純資産合計は、64億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億40百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加5億79百万円等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ63百万円増加し、28億84百万円（前連結会計年度比2.2%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、20億78百万円の収入（前連結会計年度は18億60百万円の収入）となりました。これは、減価償却費14億41百万円、税金等調整前当期純利益10億55百万円等の収入によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、16億55百万円の支出（前連結会計年度は15億86百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出16億29百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億56百万円の支出（前年同期は35億8百万円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入25億39百万円等に対し、長期借入金の返済による支出19億7百万円、短期借入金の純減少額8億8百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期
自己資本比率	20.9%	17.5%	22.4%	24.7%	25.0%
時価ベースの自己資本比率	35.4%	35.6%	34.6%	33.8%	35.3%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	4.8倍	7.3倍	2.7倍	4.2倍	3.7倍
インタレスト・カバレッジ・レシオ	35.5倍	43.0倍	99.2倍	64.0倍	72.6倍

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

基幹事業であるみそ事業、豆乳飲料事業のさらなる拡大を図ります。特に鮮度ボトル入りの液状みそ、チルド商材である「豆乳グルト」等、第3のミルクであるアーモンド飲料等の販売に注力してまいります。さらに、みそ事業、豆乳飲料事業ともに業務用シェア拡大、海外市場の売上伸長に尽力いたします。

今後も引き続き安全、品質、環境、衛生面において細心の注意を払い、安全で安心できる製品作りを目指していく所存であります。

2021年9月期通期の見通しにつきましては、売上高は300億3百万円(前連結会計年度比1.8%増)、営業利益は6億49百万円(前連結会計年度比29.0%減)、経常利益は6億9百万円(前連結会計年度比33.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は3億56百万円(前連結会計年度比50.3%減)を予測しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)適用時期等につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月20日)	当連結会計年度 (2020年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,970,229	3,059,566
受取手形及び売掛金	4,474,101	5,138,637
たな卸資産	1,878,758	1,879,222
その他	1,094,552	1,271,339
貸倒引当金	△949	△3,580
流動資産合計	10,416,693	11,345,185
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,670,552	10,817,191
減価償却累計額	△5,871,460	△6,137,749
建物及び構築物(純額)	4,799,091	4,679,441
機械装置及び運搬具	17,108,073	17,665,618
減価償却累計額	△13,331,036	△14,110,667
機械装置及び運搬具(純額)	3,777,036	3,554,951
土地	3,004,916	3,004,916
建設仮勘定	218,546	1,409,220
その他	735,086	806,766
減価償却累計額	△580,582	△647,010
その他(純額)	154,503	159,755
有形固定資産合計	11,954,094	12,808,285
無形固定資産	234,411	198,133
投資その他の資産		
投資有価証券	179,085	165,290
繰延税金資産	1,012,441	1,095,817
その他	266,684	259,848
貸倒引当金	△10,884	△17,549
投資その他の資産合計	1,447,327	1,503,407
固定資産合計	13,635,833	14,509,826
資産合計	24,052,526	25,855,012

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月20日)	当連結会計年度 (2020年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,601,946	3,690,948
短期借入金	1,645,000	835,000
1年内返済予定の長期借入金	1,845,253	1,180,325
未払法人税等	197,847	256,169
賞与引当金	379,621	383,945
未払金	3,648,561	4,067,119
その他	384,578	1,123,312
流動負債合計	11,702,808	11,536,819
固定負債		
長期借入金	4,293,009	5,589,026
退職給付に係る負債	1,250,973	1,255,061
資産除去債務	228,511	283,085
繰延税金負債	543,349	619,373
その他	77,848	75,308
固定負債合計	6,393,693	7,821,855
負債合計	18,096,501	19,358,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	629,828	629,828
利益剰余金	4,396,332	4,975,388
自己株式	△41,201	△41,281
株主資本合計	5,850,404	6,429,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,421	17,889
為替換算調整勘定	4,065	△2,500
退職給付に係る調整累計額	66,269	29,464
その他の包括利益累計額合計	82,756	44,853
非支配株主持分	22,864	22,104
純資産合計	5,956,025	6,496,337
負債純資産合計	24,052,526	25,855,012

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	当連結会計年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)
売上高	27,373,877	29,466,259
売上原価	19,974,360	21,481,227
売上総利益	7,399,517	7,985,031
販売費及び一般管理費	7,010,842	7,070,571
営業利益	388,674	914,460
営業外収益		
受取利息	4,730	6,231
デリバティブ評価益	—	6,608
持分法による投資利益	1,936	1,631
不動産賃貸収入	15,816	15,816
保険解約返戻金	—	12,102
その他	38,232	22,217
営業外収益合計	60,715	64,608
営業外費用		
支払利息	28,835	27,666
シンジケートローン手数料	8,539	8,467
債権売却損	15,214	15,076
その他	9,277	6,873
営業外費用合計	61,867	58,082
経常利益	387,523	920,986
特別利益		
補助金収入	1,003,685	593,430
固定資産売却益	35	—
受取保険金	—	42,106
特別利益合計	1,003,721	635,537
特別損失		
固定資産売却損	2,325	3,926
固定資産除却損	29,323	31,356
減損損失	555,041	397,287
製品自主回収関連費用	—	68,652
特別損失合計	586,690	501,223
税金等調整前当期純利益	804,554	1,055,300
法人税、住民税及び事業税	294,072	363,347
法人税等調整額	△381,817	△23,233
法人税等合計	△87,745	340,114
当期純利益	892,299	715,186
非支配株主に帰属する当期純利益	3,237	△760
親会社株主に帰属する当期純利益	889,062	715,946

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	当連結会計年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)
当期純利益	892,299	715,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,922	5,468
為替換算調整勘定	△8,351	△4,768
退職給付に係る調整額	△17,998	△36,805
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,614	△1,796
その他の包括利益合計	△75,888	△37,902
包括利益	816,411	677,283
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	813,340	678,043
非支配株主に係る包括利益	3,070	△760

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年9月20日 至 2019年9月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	865,444	629,828	3,644,160	△41,201	5,098,232
当期変動額					
剰余金の配当			△136,890		△136,890
親会社株主に帰属する 当期純利益			889,062		889,062
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	752,171	—	752,171
当期末残高	865,444	629,828	4,396,332	△41,201	5,850,404

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	58,177	16,031	84,268	158,477	19,794	5,276,504
当期変動額						
剰余金の配当						△136,890
親会社株主に帰属する 当期純利益						889,062
自己株式の取得						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△45,756	△11,966	△17,998	△75,721	3,070	△72,651
当期変動額合計	△45,756	△11,966	△17,998	△75,721	3,070	679,520
当期末残高	12,421	4,065	66,269	82,756	22,864	5,956,025

当連結会計年度（自 2019年9月20日 至 2020年9月20日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	865,444	629,828	4,396,332	△41,201	5,850,404
当期変動額					
剰余金の配当			△136,890		△136,890
親会社株主に帰属する 当期純利益			715,946		715,946
自己株式の取得				△80	△80
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	579,056	△80	578,975
当期末残高	865,444	629,828	4,975,388	△41,281	6,429,379

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	12,421	4,065	66,269	82,756	22,864	5,956,025
当期変動額						
剰余金の配当						△136,890
親会社株主に帰属する 当期純利益						715,946
自己株式の取得						△80
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	5,468	△6,565	△36,805	△37,902	△760	△38,663
当期変動額合計	5,468	△6,565	△36,805	△37,902	△760	540,312
当期末残高	17,889	△2,500	29,464	44,853	22,104	6,496,337

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	当連結会計年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	804,554	1,055,300
減価償却費	1,276,573	1,444,631
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△427	9,296
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,542	4,323
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,137	△20,047
受取利息及び受取配当金	△8,327	△9,712
受取保険金	—	△42,106
補助金収入	△1,003,685	△593,430
投資有価証券売却損益 (△は益)	△16,296	△4,988
持分法による投資損益 (△は益)	△1,936	△1,631
支払利息	28,835	27,666
シンジケートローン手数料	8,539	8,467
為替差損益 (△は益)	6,094	1,967
デリバティブ評価損益 (△は益)	△432	△15,260
固定資産除却損	9,435	8,536
減損損失	555,041	397,287
売上債権の増減額 (△は増加)	△332,586	△672,798
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39,252	△523
仕入債務の増減額 (△は減少)	△545	89,854
未収入金の増減額 (△は増加)	△34,251	31,266
未払金の増減額 (△は減少)	319,170	207,592
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△135,300	△262,140
その他	△86,714	110,231
小計	1,369,166	1,773,781
利息及び配当金の受取額	9,306	7,814
利息の支払額	△29,047	△28,615
保険金の受取額	—	42,106
補助金の受取額	1,003,685	593,430
法人税等の支払額	△492,982	△310,470
法人税等の還付額	31	33
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,860,160	2,078,079
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,581,254	△1,629,071
有形固定資産の売却による収入	341	100
無形固定資産の取得による支出	△59,875	△74,704
投資有価証券の取得による支出	△7,385	△4,230
投資有価証券の売却による収入	62,081	31,693
差入保証金の差入による支出	△1,755	△7,560
差入保証金の回収による収入	1,987	2,045
その他	△529	26,625
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,586,389	△1,655,102

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	当連結会計年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,415,000	△808,800
長期借入れによる収入	3,150,000	2,539,000
長期借入金の返済による支出	△916,012	△1,907,911
シンジケートローン手数料支出	△8,243	△8,730
自己株式の取得による支出	—	△81
配当金の支払額	△136,890	△136,890
定期預金の払戻による収入	49,039	106,610
定期預金の預入による支出	△78,400	△137,070
その他	△2,540	△2,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△358,046	△356,202
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,631	△3,622
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△90,907	63,152
現金及び現金同等物の期首残高	2,912,176	2,821,269
現金及び現金同等物の期末残高	2,821,269	2,884,421

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 5社

連結子会社 株式会社匠美
株式会社玉井味噌
マルサンアイ鳥取株式会社
丸三愛食品商貿(上海)有限公司
マルサンアイ(タイランド)株式会社

すべての子会社を連結しております。

2 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法を適用した関連会社数

1社

海寧市裕豊醸造有限公司

関連会社は1社であります。

(2) 持分法の適用について特に記載する必要があると認められる事項

当該会社の事業年度に係る財務諸表を使用しております。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、丸三愛食品商貿(上海)有限公司の決算日は12月31日であります。

連結財務諸表の作成にあたっては、当該子会社の2020年6月30日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

また、マルサンアイ(タイランド)株式会社の決算日は6月30日であります。連結決算書類の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上、必要な調整を行っております。その他の連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

4 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

② デリバティブ取引

時価法を採用しております。

③ たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

a 商品・製品・原材料・仕掛品

総平均法

b 貯蔵品

最終仕入原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法によっております。

ただし、1998年4月以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は、次のとおりであります。

建物	17～38年
機械及び装置	10年

② 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。

ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における見積利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によります。

④ 長期前払費用

均等償却によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額及びそれに対応する社会保険料の会社負担額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の処理方法

過去勤務費用は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理することにしております。

数理計算上の差異については、各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、それぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理することにしております。

未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用については、税効果を調整の上、純資産の部におけるその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に計上しております。

③ 小規模企業等における簡便法の採用

一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合退職要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資であります。

(6) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜処理によっております。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「投資有価証券売却益」は、営業外収益の100分の10以下となったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「投資有価証券売却益」16,296千円、「その他」21,936千円は、「その他」38,232千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、主として国内で大豆製品を中心とした食品の開発、製造及び販売をしております。

従って、当社グループは系列を考慮した製品別セグメントから構成されており、「みそ事業」「豆乳飲料事業」及び「その他食品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「みそ事業」は、主に生みそ、調理みそ、即席みそ及び液状みそが対象となっております。

「豆乳飲料事業」は、主に豆乳、飲料及び水が対象となっております。

「その他食品事業」は、みそ及び豆乳飲料以外の食品が対象となっております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、売上総利益に、販売費及び一般管理費の内、セグメント別に識別可能な費用を控除して算出しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,958,723	20,262,963	2,133,525	27,355,213	18,664	27,373,877
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,958,723	20,262,963	2,133,525	27,355,213	18,664	27,373,877
セグメント利益	288,308	4,150,506	172,128	4,610,944	18,664	4,629,609
セグメント資産	1,578,434	9,888,393	285,230	11,752,058	4,093	11,756,151
その他の項目						
減価償却費	163,245	943,573	13,946	1,120,765	—	1,120,765
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	321,234	1,029,812	—	1,351,046	—	1,351,046

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料を含んでおります。

当連結会計年度(自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,755,483	22,477,909	2,213,975	29,447,367	18,891	29,466,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,755,483	22,477,909	2,213,975	29,447,367	18,891	29,466,259
セグメント利益	82,590	4,911,074	172,770	5,166,435	18,891	5,185,327
セグメント資産	1,393,064	10,344,701	217,648	11,955,414	5,164	11,960,579
その他の項目						
減価償却費	199,609	1,074,279	6,303	1,280,192	—	1,280,192
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	329,187	1,389,611	54,400	1,773,199	—	1,773,199

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術指導料を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,610,944	5,166,435
「その他」の区分の利益	18,664	18,891
全社費用(注)	△4,240,934	△4,270,866
連結財務諸表の営業利益	388,674	914,460

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	11,752,058	11,955,414
「その他」の区分の資産	4,093	5,164
全社資産(注)	12,296,375	13,894,433
連結財務諸表の資産合計	24,052,526	25,855,012

(注) 全社資産は、主に営業資産及び本社資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,120,765	1,280,192	155,808	164,439	1,276,573	1,444,631
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,351,046	1,773,199	131,053	811,153	1,482,100	2,584,353

(注) 減価償却費の調整額は、販売費及び一般管理費に帰属する減価償却費であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額調整額は、主に本社の設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	豪州	その他	合計
26,153,557	726,692	493,627	27,373,877

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
伊藤忠商事株式会社	9,773,169	みそ事業、豆乳飲料事業及びその他食品事業

当連結会計年度(自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	豪州	その他	合計
25,839,860	3,123,557	502,841	29,466,259

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
伊藤忠商事株式会社	10,956,082	みそ事業、豆乳飲料事業及びその他食品事業
SPIRAL FOODS Pty. Ltd.	3,123,557	豆乳飲料事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社 (注)	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計			
減損損失	445,913	53,931	53,926	553,771	—	1,269	555,041

(注) 「全社」の金額は、子会社であるマルサンアイ(タイランド)㈱に係るものであります。

当連結会計年度(自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社	合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計			
減損損失	348,867	—	48,419	397,287	—	—	397,287

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	当連結会計年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)
1株当たり純資産額	2,600円54銭	2,837円72銭
1株当たり当期純利益金額	389円68銭	313円81銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。
2 算定上の基礎

1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2019年9月20日)	当連結会計年度 (2020年9月20日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額	5,956,025千円	6,496,337千円
普通株式に係る純資産額	5,933,160千円	6,474,232千円
差額の内訳 非支配株主持分	22,864千円	22,104千円
普通株式の発行済株式数	2,296,176株	2,296,176株
普通株式の自己株式数	14,668株	14,688株
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数	2,281,508株	2,281,488株

1株当たり当期純利益金額

項目	前連結会計年度 (自 2018年9月21日 至 2019年9月20日)	当連結会計年度 (自 2019年9月21日 至 2020年9月20日)
親会社株主に帰属する当期純利益	889,062千円	715,946千円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益	889,062千円	715,946千円
普通株式の期中平均株式数	2,281,508株	2,281,496株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(1) 代表者の変動

該当事項はありません。

(2) その他役員の変動 (2020年12月11日付予定)

①退任予定取締役

常務取締役 営業担当 倉橋良二

取締役 生産担当 兼子明

②新任取締役候補

取締役開発統括部長、株式会社玉井味噌取締役 岡田信之

(現 開発統括部長、株式会社玉井味噌取締役)

取締役管理統括部長、マルサンアイ鳥取株式会社取締役 磯村智

(現 管理統括部長、マルサンアイ鳥取株式会社取締役)

③退任予定監査役

監査役(常勤) 寺川和成

④新任監査役候補

監査役(常勤) 成瀬悟

(現内部監査室長)

2020年9月期決算発表（連結）【参考資料】

マルサンアイ株式会社
(コード番号 2551 名証二部)

1. 業績の推移 (%表示は対前期増減率)

	2019年9月期		2020年9月期		2021年9月期（予想）	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	27,373	3.9	29,466	7.6	30,003	1.8
営業利益	388	2.5	914	135.3	649	△29.0
経常利益	387	△6.5	920	137.7	609	△33.8
当期純利益	889	△22.4	715	△19.5	356	△50.3

2. セグメント別売上高の推移 (%表示は対前期増減率)

	2019年9月期		2020年9月期		2021年9月期（予想）	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
生みそ	3,927	2.7	3,716	△5.4	3,792	2.1
調理みそ	371	△0.8	356	△4.2	388	9.1
即席みそ	435	5.9	470	8.0	472	0.4
液状みそ	223	32.1	212	△5.2	270	27.3
みそ事業計	4,958	3.7	4,755	△4.1	4,924	3.5
豆乳	18,034	5.9	19,980	10.8	20,734	3.8
飲料料	2,228	△6.4	2,497	12.1	2,361	△5.4
豆乳飲料事業計	20,262	4.4	22,477	10.9	23,096	2.8
その他食品事業	2,133	△0.1	2,213	3.8	1,965	△11.2
技術指導料その他	18	3.4	18	1.2	17	△9.0
合計	27,373	3.9	29,466	7.6	30,003	1.8

3. 財政状態の推移

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期（予想）
	百万円	百万円	百万円
総資産	24,052	25,855	26,085
純資産	5,956	6,496	6,676
自己資本比率	24.7%	25.0%	25.5%
1株当たり純資産	2,600円54銭	2,837円72銭	2,897円98銭

4. キャッシュ・フローの推移

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期（予想）
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,860	2,078	1,002
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,586	△1,655	△1,981
財務活動によるキャッシュ・フロー	△358	△356	1,145
現金及び現金同等物 期末残高	2,821	2,884	3,050

5. 配当の状況

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期（予想）
1株当たり配当額	60.0円	70.0円	30.0円
配当性向	15.4%	22.3%	19.3%

6. 設備投資額及び減価償却費の推移

	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期（予想）
	百万円	百万円	百万円
設備投資額	1,482	2,584	1,380
減価償却費	1,276	1,444	1,516

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。